

令和6年度 第3学年 授業改善推進プラン

台東区立忍岡小学校

	児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法 指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>読み取った内容を基に、考えを形成し、表現すること</u> ・漢字を正しく読んだり、書いたりすること 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に応じ、順序やまとまりを考えて情報を整理し、自分の思いや考えを適切な言葉で表現する力 ・既習の漢字を書き、文や文章の中で使う力 	<ul style="list-style-type: none"> ・物語や説明文の学習の単元末には、感想や紹介文、物語の続きを考えて書く言語活動を取り入れ、その発表を聞き合う時間を設ける。 ・国語辞典を使って言葉の読みや意味などを自分で調べたり、文章の中で新出漢字を使ったりする活動を積極的に取り入れ、正しい言葉を使おうとすることが習慣として定着するようにする。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>式や筆算を正しく立式し、その意味を正しく説明すること</u> ・数量の関係に着目し、計算の意味や計算の仕方を考えること ・式や図を用いて、自分の考えを説明すること 	<ul style="list-style-type: none"> ・式の意味を説明する力 ・計算の意味や計算の仕方を考えたり、計算に関して成り立つ性質を見いだしたりするとともに、その性質を活用して計算する力 ・自分の考えを図や式を用いて説明する力 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章問題の言葉に気を付けて立式させ、式や筆算の数字の意味を説明させるようにする。 ・問題を具体物、図で考え、その結果を確かめたり、それを表現し伝え合ったりする活動を多く取り入れる。 ・習熟度別に学習過程を考え、児童一人一人が考え方を説明できるようにする。 ・集団検討場面で多様な考え方を取り上げ自分の考えを表現する場面を設定する。

